

ビデオを通して T.Y.

2025. 4. 20. ビデオ撮影

テルミンと言う不思議な楽器の演奏会があるので来てみませんかと Y. I. さんに誘われて、初めて地球冒険学校のイベントに参加したのは2006年のわくわくコンサートでした。DVDを差し上げますと申し出たら事務局長の宮下先生から怪しまれましたが、何とか信頼を得て、以降。ほとんどのイベントに参加し、ビデオ撮影を依頼され、編集しDVDにして皆さんに喜んでもらえるようになりました。

スタッフの先生方とのお話や、会員の皆さんとのお話を通じて、今まで知らなかった世界も学びました。障がいのある方との接し方も当初はぎこちなかったですが、今では何も身構えずに話せるようになりました。また、イベントもなかなか普段経験できない“そらぷちキャンプ”や“江の島水族館のお泊り会”など貴重な経験もさせてもらいました。

YさんやMさん夫妻に撮影を手伝ってもらいながら、なんとか全イベントの記録を残すことができ、ほっとしています。パソコンで編集していて思わぬ笑顔が画面いっぱいに見えたとき等、つい晩酌の量が増えてしまいます。バスレク用に短く編集したものなどを合わせると約140枚ものDVDがあります。一枚一枚に皆さんのとびっきりの笑顔と楽しい思い出があふれんばかりに記録されていて最高の宝物です。



約140枚のDVD

2017年1月高遠ソリ遊び
ビデオ撮影中2015年高尾山には802ビデオ
のお仲間を誘って、しかし
大変過ぎると後継ご辞退

障がい、世代、出身を超えた交流は増々必要😊💛 I.M.

1945年11月生まれです。2才上の姉と年子の妹の間で、小さい子どもの足では30分かかかる保育園（母子寮と乳児院が隣接）にお弁当を持って子どもだけで通いました。杉並の実家の隣組には、戦争で焼け出された家族が間借りしていたり、大学生が下宿していました。親の留守には小さい子どもを預かってくれたし、上がり込んで遊ぶのOKでした。垣根には開放された木戸があり、子どもたちは当たり前に行き来しました。リーダーの素養バッチリのお兄ちゃんが毎日「色々遊び」（簡単なものから複雑なルールのあるもの、石けり、馬とび・馬乗り、合戦等々）を、一人ひとりの意見の聞き取り方、ハンディの付け方、夕飯の準備に呼ばれる時には上手く終われるように組み合わせしていました。七夕やお祭り、お正月など、季節の遊びや行事を、小さい子も入れて、少し遠くまで遠征して楽しむことも企画してくれました。その遊び文化は6・7年受け継がれました。学校の先生たちも校庭で映画会を開き、夏休みの子ども文化活動を押ししてくれました。

地球冒険学校で5人の孫が異年齢、多様な仲間と出会って交流し、楽しく遊ぶことが出来たのがなによりでした。最初の



孫は3才で高遠に参加。祖母から離れて小学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんにくっついて行動していました。昭和公園夏 BBQ は4才で小学生と一緒に肉焼きも経験。翌年、道志の森キャンプでは一人前の顔で肉を焼いていました。1才の高遠で小学生に面倒見てもらっていた孫は、3才の高遠では赤ちゃんのお世話をしていました。



2009. 7. 25. 夏 BBQ

BBQ にはブリッタ（ドイツ）、マルゴ（フランス）、雪遊び高遠にはミヤー家（インドネシア）、ベン（タイ）、ヨハンナ（ドイツ）、高尾山にはブラジルやアルゼンチンなどからの空手留学生が参加しました。わくわくコンサートや交流学習会では次女家族との関わりで、ブラジルのカポエイラやボタンサッカーの紹介、韓国の言葉とチジミ料理を学ぶなど、国際交流のお手伝いもできました。

地球冒険学校の活動には高校生・大学生・若い教師・ANA、地域の市民ボランティアの参加を確保できたのが嬉しいことでした。ボランティアの皆さんには交通費と飲み物・弁当代程度でしたが謝礼を、大型バス借り上げ代、コンサート出演者への謝礼など、八王子市、草の根事業育成会、東京市町村自治調査会、子どもゆめ基金などから助成があつてできたことです。全てをボランティアの自己負担とせず、公的に近い助成があつて良いと思います。

これからも障害や世代を超えて地域での共生を促進する交流活動が次々と生まれ、育っていくことを願います。若い世代に期待します。

M.J.のA・・・日記 *Time flies ~*

前号の地球冒険学校会報誌(第81号)の21年の歩みを見ながらこれを書いています。本当に沢山の活動をしてきたんだなあとき々懐かしく思い出しみじみしています。私は以前、会報誌に“A・・・日記”と題して連載させて頂いていました。今回、世話人として最後に何か感想をとということで振り返るうち、何だかとても長くなり、この際“A・・・日記”を復活させて、だらだらと思い出に耽ってみようと思いました。斜めでも目を通して頂けたら嬉しいです。

私が冒険学校を知るきっかけは活動開始から間もなくの頃。当初から活動に関わっていたHさんからの会議へのお誘いでした。「楽しい遊びを企画していて……○×△□、Aちゃんも楽しめると思うし……♡♡♡……」と、何やら怪しげな宗教の勧誘みたいでしたが(冗談ですwww)、とにかく“Aが楽しい!?”の一言でのこのこ参加。ずるずる入会。もれなく世話人という肩書きと共にメンバーに加わることになりました。

何が何やら分からないままでしたが、『このままで良いのか?……取り戻したい 今こそ作りたい(設立趣旨より)』という熱い思いを持った設立者のM夫妻先生(以下纏めてM先生)と、それに賛同した先生たちが集まって、子供たち(ついでに大人も)楽しめる遊びの企画をする会なんだなということに理解できました。

この頃の学校は教育大改革時代と言われる中で、教育環境は年々悪化していきました。子供にとっては楽しみの行事や宿泊なども削減。Aが入学した頃のあのアットホームで自由でのびのびとした学校の雰囲気なども何処へやら。様変わりをしていました。ですから、学校とは別の場所で先生たちが集まって子供たちのために会議をしている様子は、秘密会議をしているようで何だかワクワクする光景でした。その中には何と元担任の先生もチラホラいたのですから尚更です。

こうして私は世話人となり会の活動に参加させて頂くことになりましたが、私だけでなく **A** にとっても地球冒険学校は新しい居場所として何か刺激的な事が始まるのではと、とても楽しい気持ちになりました。そしてそれはすぐに現実味を帯びてきたのです。

21年前……。やはりあの頃は皆さん若かった！フットワークも軽い！！M先生の冒険への情熱も今以上で、“地球冒険学校”という名に勝るとも劣らないグアム・タイ・コスタリカ・イルカ！？などの壮大な企画が目白押しでした。そんな中で私達親子は、海外なんてとんでもないと無謀企画（あくまでも個人の感想です）の合間に行われた2004年9月の藤野芸術の家でのお泊りコンサートに参加。地球冒険学校デビューを果たしました。

人混みが苦手、場所見知りも激しく、時に大声を出してしまう **A** と二人だけでの参加はそれだけで大冒険という気分でしたが、“出会った時から友達さ～♪”の校歌の歌詞同様、ここでは皆が仲間。“クマもクジラも仲間さ～♪”というわけで何だって構わない。好奇の目を感じる事無く、人目を気にせず安心して楽しむ事が出来ました。**A** を受け入れてくれる素敵な居場所……。そしてこれからの企画も楽しみだわ！などと感じていた頃、予期せぬお誘いが！！

「2回目のグアムキャンプ、参加しませんか？」冒険魂メラメラのM下先生からのメールです。

「いやいや絶対無理です！」初めのうちは断わりながらも、「大丈夫です！行きましょう！」

「何とかできます。」等の返信に段々と行ってみたいかもと思ひ始め、ついに参加表明。

夫と長女に半ば呆れられながら、私と **A** はグアムへと飛んだのでした。不安いっぱいではありましたが、現地では温かい雰囲気の中、先生たちがごくごく自然に手助けしてくれました。大自然の中、非文化的で過酷にも思えるキャンプでしたが、何不自由なくすべての日程を楽しむ事ができました。“みんなでやればきっと何でも出来る～♪”を実感しました。これを機に私の冒険魂にも火が付いてしまった



2009. 10. 31. 高尾山



ようで、翌年のグアムキャンもまた参加。その後高尾山3回。北海道そらぶちキャンプ2回など。初め、私の行動を呆れながら見ていた家族もその活動に段々と興味を持ってくれ、1回目の北海道には夫が同行。2回目は長女と当時1歳5か月の孫が同行。

孫が増え成長するに従い、BBQや運動会、お泊りコンサートなどにも揃って参加してくれるようになりました。それに加えコンサートでは、琴・リコーダー・

太鼓などで出演者側としても参加させて頂き、孫も司会のお手伝いをさせてもらったり、コロナ禍のZOOMイベントでは、チアの踊りを披露したりと、本当に思い出に残る貴重な体験を沢山させて貰いました。



2009. 10. 3. わくわくコンサート琴演奏

親子3人だけではご近所散歩ぐらいしかしない我が家ですが、沢山の行事に参加させて頂くことで、**A** にとっても良い刺激になりました。マイペースでコミュニケーションは苦手。声を掛けてもらっても素知らぬ顔という態度は最後まで変わりませんでしたが、少しずつ馴染んでくれて、ここは安心できる場所と感じてくれたようです。自分流を貫きながらもフンフンと楽しめるようにもなりました。ありのままでいられる大切な場所になっていきました。

…………しかし寄る年波には勝てず、地球冒険学校の解散が決まり、先日、最後の総会&BBQが行われその活動に幕が下ろされました。

本当に名残惜しく、残念な気持ちでいっぱいでしたが、会場には130人を超える人達が集まり大盛況となりました。懐かしい方々、お世話になった方々、常連さん、そしていつもここに来ると会える仲間達。いつもと同じ楽しい時間が流れました。笑顔いっぱいでした。雨予報の天気だったにもかかわらず、絶好のBBQ日和になり、「潔く終わらせちゃいなさい!」と何者かに背中を押されているようでした。

私はお世話になりっぱなしの世話人でしたが、唯一のお仕事の荷物係?として、家に保管していた景品や行事の小道具、文具などもBINGOで大放出。全て捌くことができ地球冒険学校の終活も無事終わりました。我が家の物置がちょっとさっぱりした反面、私の心もポッカリ穴が開いてしまい寂しい気持ちも押し寄せましたが、始まりがあれば終わりがあるのは仕方ありませんね。どこかで覚悟を決めなければです。



2025. 4. 20. 最後の記念撮影に並ぶ顔が少し淋しげ…

この21年間、皆さんと過ごした日々は本当に楽しかったです。心がほっこりする瞬間が何度もあり、支えあいながら素敵な時間を過ごすことができました。

本当に色々ありがとうございました。全ての思い出を大切にしながら次の一步へと進んでいきたいと思います。またどこかでお会いできることを楽しみにしています。皆様お元気で過ごして下さい。

(今度こそ…………完)

苦手だった冒険が… H.M.

冒険学校でたくさんの人と出会い、様々な体験を重ね、苦手だった冒険を何か少しだけ克服できたような気がします。お世話になりました。ありがとうございました。※NPO登録や法人としての報告書作り、会計報告など22年間大変なお仕事を担って下さいました。感謝です。



元太鼓やリコーダーでコンサート出演も

素敵な時間を過ごしました S.I.

地球冒険学校は初任の頃、N先生にお誘い頂き、度々参加させて頂きました。上京して、東京も教育現場についても右も左もわからなかった私にとっては大先輩方のお話、色々な人たちと楽しみながら繋いだ縁を大切に育てていく姿勢がとても勉強になりました。保護者の方と色々楽しくお話できたこともすごく私にとっては大切な経験となりました。

そらぷちで北海道にも同行させて頂き、本当になかなか経験できないことをたくさんさせてもらいました。最近、薬局に私たちの行ったそら

ぷちの写真と共に活動のポスターが貼

ってあるのをみかけ、「あの時だったな

あ」とか、「楽しかったなあ」なんて思いを

巡らせています。お手伝いも殆どできず、

ただ楽しく参加させて頂いた身で申し訳ない

のですが、地球冒険学校に関わらせていただいて

とても素敵な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



寄付を募るポスター